



超詳細な
マニュアル
はこちら！

海のお掃除アンサンブル



Beach Clean Team

分別回収 “10種類に分別、1袋につき1種類決めてそれだけを拾う”

- 発泡スチロール
 - 缶
 - ペットボトル
 - 軟質プラ（PE）
 - ボール
 - その他（燃えるごみ）
 - 分別
- ★ビン・ガラス（シーグラス含む）
 - ★硬質プラ（PETキャップ含む）
 - ★鉄・鉛
 - ★釣り具
 - × 大きなごみ（袋に入らない）
 - × 流木
 - × 漁具
 - ★アップサイクル可能
 - × 回収NG



例：硬質プラ
（他のごみを混ぜない）



分別回収の
目的



各ごみの外観



分別のやりかた

Research Team

計量 “ごみの重量測定” 記録 “重量の記録、ごみの写真撮影”



定量化のために、
分別したごみの重量を測定



データシートに重量を記録し、
グラフを作成



外観の記録、
位置情報からMAP作成



計量のやり方



グラフ作成



海洋ごみMAP



超詳細な
マニュアル
はこちら！

TIME TABLE



Clean Ocean Ensemble

OPEN 9:40 START 10:00 @多尾海岸

Beach Clean Team

Research Team

10:00

集合・説明

10:10

10:20

分別回収

10:30

10:40

分別作業

10:50

集合写真撮影

11:00

ごみの運搬

分別回収

ごみの計量、記録、
写真撮影



超詳細な
マニュアル
はこちら！

各ごみの外観

① 発泡スチロール



② ビン・ガラス類



③ 缶



④ ペットボトル



⑤ 鉄・鉛



⑥ 硬質プラ (PP)



⑦ 軟質プラ (PE)



⑧ ボール



⑨ 釣り具



⑩ その他

(燃えるごみ・未分別)



緑：アップサイクル可能、
黒：分別、
赤：未分別



超詳細な
マニュアル
はこちら！

分別回収の手順



ごみ拾いの手順

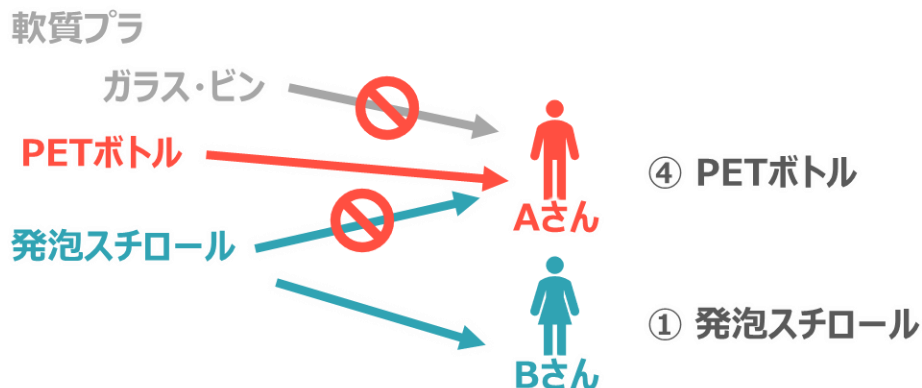
道具を受け取り、各自でごみの種類①～⑩を最初に決め、「それだけ」を約30分間拾います。例えば、Aさんが④ペットボトルに決めた場合、ペットボトルは拾ってごみ袋に入れますが、そのほかの①～③、⑤～⑩は入れません。もし、④以外を拾った場合は、他の参加者がそのごみを担当してる場合はそのごみ袋に入れます。例えばAさんが①発泡スチロールを拾った場合、Aさんのごみ袋には入れませんが、Bさんが①を担当していた場合、Bさんのごみ袋に入れます。

ごみ拾いに必要な物品

トング、ごみ袋（透明なものが好ましい）、保護具（軍手、手袋など）

ごみ拾いの注意点

- ・ごみは危険なものもあるため、必ず保護具（ゴム手袋、軍手）を着用し、素手で触らない！
- ・危なそうなもの（ガスボンベ、液体入りボトル、注射針など）は無理に拾おうとしない。





超詳細な
マニュアル
はこちら！

ごみの計量



ごみの計量

はかり（デジタル吊りはかり SF-910）を用いて、分別した①～⑩を一袋ずつ重量測定します。はかりの Tareを押して、重量が0 kgであることを確認し、ごみを吊ります。風や揺れの影響で重量の値が振れますが、落ち着いたところで値が固定されます。その際の値を読み取り、データシートへの記入及び写真を撮影します。

ごみの写真撮影

- ごみの外観及び重量を記録のために写真を撮影します。写真撮影は、以下の観点に注意して撮影します。
- ・ごみの全体像とはかりが映った写真（全体像）、重量をアップで写した写真の二枚を撮影。
 - ・ごみに影が入らないように注意して撮影。
 - ・可能であれば、背景に白い布や白い板を設置してから撮影するとごみの写真がわかりやすい。



ごみの計量写真（全体像）



ごみの計量写真（重量アップの写真）



影が入って中身の判別がし難い写真。